

TOTO

東陶機器株式会社

f
SERIES

サーモスタット混合栓

TOTO

ご愛用のしおり

■このたびは、TOTO **f** SERIES
サーモスタットシャワーバス金具をお
求めいただきました。まことにありが
とうございました。このしおりをよく
お読みのうえ、正しくお使いください。

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

もくじ

安全上の注意	1～2
特長・各部のなまえ	3
各ハンドルの役目	4
つかいかた	5～6
使用上の注意	7～8
温度調節のしかた	9
手入れのしかた	10
ストレーナの掃除	11～12
故障したときは	13
修理を依頼される前に	13

本 社 〒802 北九州市小倉北区中島2-1-1……………ビル電話受付台(093)951-2111
95.5.
06743R

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

- (1) 水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。
- (2) 熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。(カラン付)
- (3) 使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。
- (4) 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

- (5) ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

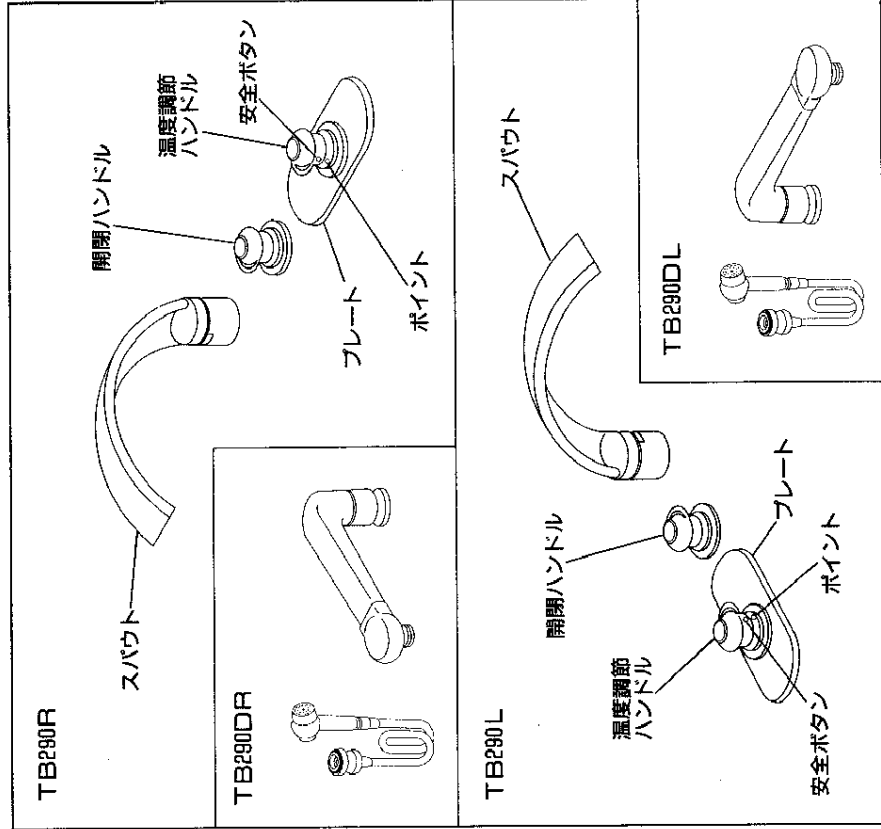
- (6) 温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。
やけどをするおそれがあります。

- (7) 凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

- (8) ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

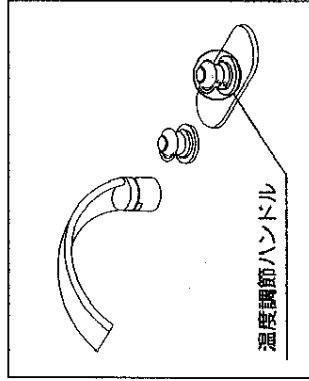
特長・各部のなまえ

1. サーモスタット付ですので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても吐水温度をほぼ一定に自動調整します。
2. 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。
3. 掃除用シャワー付の場合浴槽・ふろがまの循環パイプ・タイルなどの掃除にご利用いただけます。



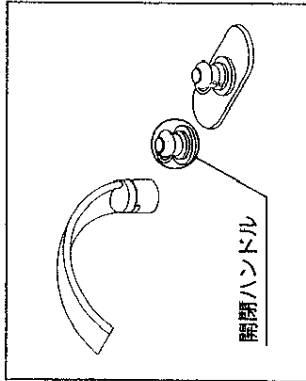
各ハンドルの役割

1. 温度調節ハンドル



吐水温度を変えるときに使用します。サーモスタット付ですので、調節後は吐水温度がほぼ一定になるように自動調整されます。なお、このハンドルで、湯水を止めることはできません。

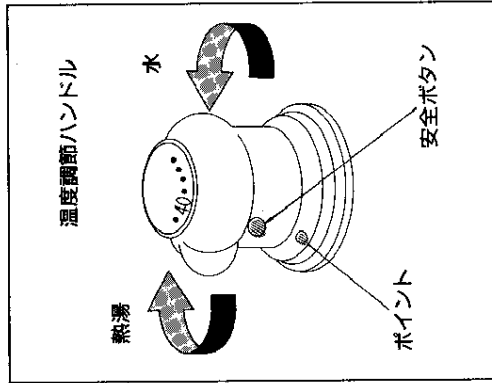
2. 開閉ハンドル



湯を出したり止めたりする場合に使用します。

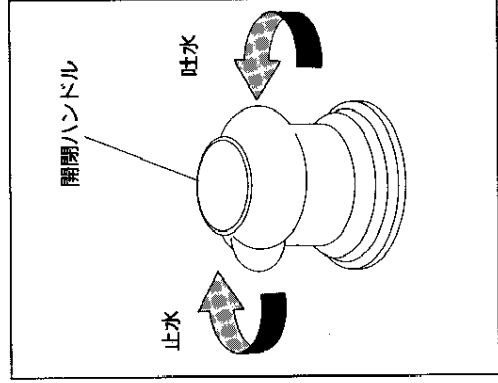
つかいかた

温度調節



温度調節ハンドルを回してお望みの目盛をポイントに合わせてください。数字は湯温を示す目安としてください。温度調節ハンドルには誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛 "40" 付近でロックされますのでこれより高温で吐水させたいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛 "40" 以下に戻しておいてください。

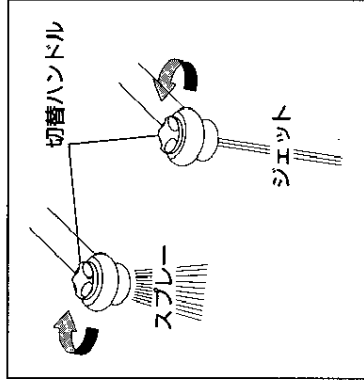
吐水・止水



開閉ハンドルを右に回すと吐水します。お湯を止めたい時は開閉ハンドルを左に回してください。

TB290Dの右の場合

掃除シャワーの切替

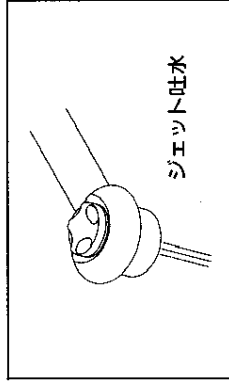


切替ハンドルを右に回すとジェットに、左に回すと、スプレーになります。

使用上の注意

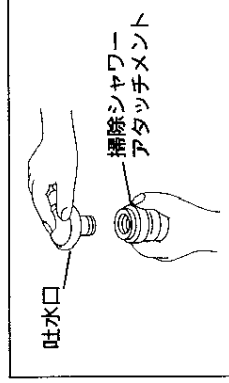
TB290D型の場合

1. 掃除用シャワーのジェット側使用時はご注意ください。

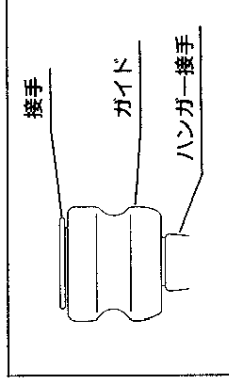


掃除用シャワーのジェット吐水は水勢が強いため、目・耳などには絶対に当たらないでください。

2. アタッチメントを着脱するときは、吐水口を手で支えてください。



着脱時にむりな力がかからないように吐水口を手で支えてください。なお、接手がガイドより出ていないと取付できません。
(接手がガイドより出ていないときはガイドをハンガー接手側へ下げて接手を出してください。)



給湯機が瞬間型の場合は次の点にご注意ください。

1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますので開閉ハンドルはできるだけ全開で使用ください。

2. 給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は開閉ハンドルで調節を行ってください。(開閉ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。)
3. 混合水栓から吐水する温度より、10°C以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は、給湯機の設定温度（能力切替式の場合は能力）を少し下げてください。

- ・ 給水圧力が低いとき
- ・ 水温が高いとき

温度調節のしかた

目盛り通りの温度が出ない場合は、次の要領で温度調節をしてください。
まず、調節する前に、次の点を確かめてください。

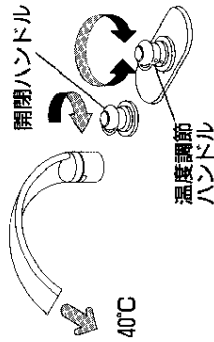
(a) ストレーナーのごみのつまりはないか。(P10.11参照)

(b) 止水栓が全開しているか。(P10を参照)

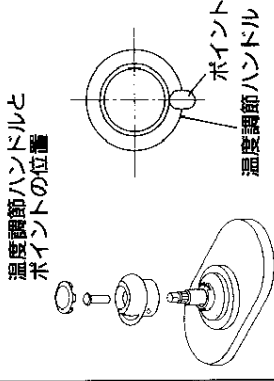
(c) 十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきているか。

温度が低い場合は、給湯機の温度設定を上げてください。

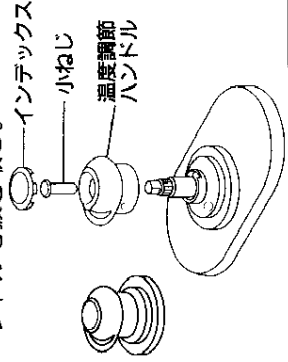
1. 開閉ハンドルを開き、温度調節ハンドルの目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。



3. 温度調節ハンドルのレバー部分センターとポイントに合わせて温度調節ハンドルをはめ込み小ねじで固定し、インデックスをはめ込んでください。



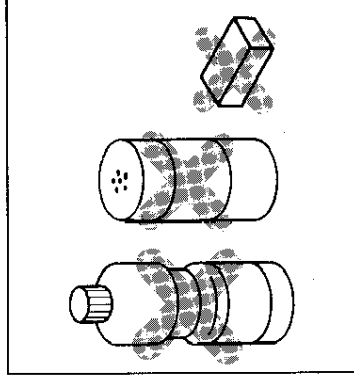
2. 温度調節ハンドルが回らないよう注意してインデックスと小ねじをはずして温度調節ハンドルを抜き取る。



手入れのしかた

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところはときどきミシン油やカーワックスなどを布でみがいでください。ただし樹脂部（ハンドル）に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。

クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。



※カラー塗装品及びパールブライトめっき品は付属の取扱説明書をご覧ください。

ストレーナの掃除

ストレーナがつまると流量が少なくなったり、水又は熱湯がなくなくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので、ときどき次の要領でストレーナを掃除してください。

1. 下図の順序でインテックス・小ネジ・温度調節ハンドル・カバー・プレートを取外す。

※プレート押えが外れない場合には、外周溝に(-)ドライバーを差込んでゆるめてください。

2. 手前の止水栓（湯側・水側）を閉じる。

3. 開閉ハンドルを開き、止水栓で止水したことを確認する。

4. (-)ドライバーを溝に差込みストレーナをゆるめて取出す。

注：ストレーナ部の周囲のごみは、取除いてください。

5. ストレーナを取出し、ストレーナの網目につままったごみをブラシなどで取除く。

6. ストレーナを元どおりに戻し、止水栓を開く。

7. プレートをかぶせる。

8. プレート押えにパッキンを入れて、ねじ込む。

9. プレート押えにカバーをかぶせハンドルを取付ける。

注：器具内の残水が流れ出てきた場合には、雑布でふき取ってください。

故障したときは

故障の修理はお取付工事店にご依頼ください。
なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

現象	調べたいところ
■吐水量が少ない	<ul style="list-style-type: none">● 止水栓は全開されていますか。● ストレーナーにごみはたまっていますか。
■高温しか出ない ■低温しか出ない	<ul style="list-style-type: none">● 止水栓は全開されていますか。● ストレーナーにごみはたまっていますか。● 温度調節は適当ですか。
■ダイヤルどおりのお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">● 止水栓は全開されていますか。● ストレーナーにごみはたまっていますか。● 温度調節は適当ですか。

※点検方法は「ストレーナーの掃除」、「温度調節の方法」の項を参照ください。